

劇団ユニークポイント
2本立て興行

いのち もてあそぶひと

作・演出／山田裕幸 原作／岸田國士 「命を弄ぶ男ふたり」

出演／古市裕貴 ナギケイスケ 山田 河村若菜 ながいさやこ

アンダンテ

歩くような速さで

作・演出／山田裕幸 出演／泉陽二 ナギケイスケ

2020年2月21日～24日
白子ノ劇場



二本立て興行

いのちもてあそぶひと

初演:2011年 上演時間:約45分 原作:岸田國士「命を弄ぶ男ふたり」(大正14年)
作・演出:山田裕幸 出演:古市裕貴、ナギケイスケ、山田愛、河村若菜、ながいさやこ

アンダンテ 歩くような速さで

初演:2017年 上演時間:約30分
作・演出:山田裕幸 出演:泉陽二、ナギケイスケ スタッフ:西山仁実

私が自ら主宰する劇団で作品を上演する場合、基本的には何をやるのが自由だ。それでも演目を決める基準という方針はあって、それは「この作品をいま上演する意味があるのか」ということになる。しかし2011年に東日本大震災があり、原発が崩れ、もはやこの国で上演する意味のある演劇など、どこにも存在しないのではないかと思った。ちょうどその時、私は次作の戯曲執筆中であり、PCの前に座っても目の前の戯曲をどうしてよいものか、まったくわからなかったし、心底無意味に思えた。「いのちもてあそぶひと」はそのときに書いていた戯曲である。私にとっては世界が一度終わり(リセットされ)新しい世界が始まるまでの、いわば記憶の演劇である。しかし始まったと思った新しい世界はひどく不寛容でモラルを欠いた世界に見えるがどうなのだろう。たかだか数年前、無意味だと思った演劇を、いまは意味があると思ってやっている。そんな演劇とはいったい何なのだろう。意味はあるのだろうか。それともやはり、相変わらず意味などないのだろうか。

2020年 2月21日(金) 22日(土) 23日(日) 24日(月) 夜7時開演

前売り開始/1月11日(土)

【料金】一般 2,500円 (日時指定/自由席) 25歳以下 1,000円

【予約】TEL・FAX 054-625-8885 E-mail ticket@uniquepoint.org

必ずご予約ください。予約のない場合、ご入場いただけない場合がございます。(限定30席)
空調のない会場のため、寒くなることが予想されます。
25歳以下のチケットの方は、混雑時にはベンチシートになります。



上記QRコードから簡単に予約できます。

白子劇場 Shirakana Theatre
専用駐車場はございません。
藤枝駅北口より、しずてつバス中部国道線「白子」下車すぐ。

【主催・お問合せ】一般社団法人ユニークポイント TEL:054-625-8885 E-mail:office@uniquepoint.org

